

2025 年 6 月 30 日

■+■-----
+■┐ 中部防災推進ネットワーク
メールマガジン Vol.56
■┐-----

各 位

中部防災推進ネットワークの参画メンバーの皆さまに、
メールマガジン（2025 年 6 月号）を配信します。

※メールマガジンのバックナンバー、これまでの会合の
発表資料等は中部防災推進ネットワークホームページに
掲載しています。

<中部防災推進ネットワークホームページ URL>
[http://www.gensai.nagoya-u.ac.jp/kyoso/chububosai-
nw.html](http://www.gensai.nagoya-u.ac.jp/kyoso/chububosai-nw.html)

1. 本ネットワークの参画団体のご寄稿

（1） ホテル協会中部支部

ホテル協会中部支部事務局長の■■■■と申します。
本年 5 月 22 日の「南海トラフ巨大地震対策検討 WG 報
告書説明会」及び同年 5 月 23 日の同勉強会に出席させ
ていただきましたので、僭越ながら、所感と当協会の課
題等を簡単に述べさせていただきます。

今回の説明会、勉強会では、約 1,000 ページに及ぶ報告
書を具体的かつ簡潔に解説いただき、地震対策の全体像
とホテル業と他業種とのかかわりや各事業所で取組まれ
ている対策を知ることによって我々の認識との相違点が浮き彫
りとなり、宿泊業の今後の進むべき防災活動の方向性が
より明確になりました。

ホテルをはじめとする宿泊業は、災害対策基本法で定め

る「指定機関」に指定されておらず、各社の BCP でも「現に宿泊施設を利用されているお客様の安全確保」や「宿泊業等の本来業務を早期に復活する」という自助に関する内容が大半で、共助・公助の項目が極めて少ない状況でした。

しかしながら、大雨・台風時の避難先としてのホテル宿泊への助成制度や、大規模災害時の退避・避難施設として宿泊施設が指定されるなど、宿泊業に対し災害発生時の共助、公助の役割が増していることも事実です。

さらには、昨今のインバウンド需要の増加により、天災の知識や経験が少ないお客様に対する対応にも、一事業所のみではなく公的機関、他業種との連携・調整のなかで検討していくことが不可欠だと認識しております。

ホテル協会としては、外国人の方々を含め観光やビジネスなどでお越しになったお客様に対して「災害」に対する備えが万全であることを、「安心・安全の提供」という付加価値として積極的に発信し、災害発生時の懸念を持たれることなく心から楽しんでいただけるよう、積極的に取組んで参ります。

今後とも本ネットワーク事務局様を始め、会員の皆様との連携、協力を進めて参りたいと存じますので、引き続きどうかよろしくお願い申し上げます。

2. 本ネットワークの参画団体からのお知らせ (防災イベントの予定等)

(1) 名古屋商工会議所

○イベント名

中小企業向け BCP（事業継続力強化計画）セミナー

○開催日時

7月17日（木）13:30～17:00

（1部・2部両部参加の場合）

○開催場所

名古屋商工会議所 5階 BC会議室

○概要

BCPの基礎知識から実際に策定した経営者のお話、計画策定の体験等、必要な情報を一日で網羅できるセミナーです。2部構成で、ご関心のある部のみの参加も可能。防災・減災にこれから取り組む方へ最適な内容となっております！

○Web ページ URL

https://www.nagoya-cci.or.jp/event/event-detail-post_48.html

(2) 公益財団法人 中部科学技術センター

○イベント名

かがくであそぼ！防災・減災ワークショップ 2025

○開催日時

2025年8月2日（土）13時30分～15時20分

○開催場所

東桜会館 1階第2会議室

（愛知県名古屋市東区東桜2丁目6-30）

○概要

お菓子な科学実験 楽しく地震と耐震を学ぼう！
～プログラム～

- ・ハザードマップの解説
- ・小麦粉とココアの断層実験
- ・プリンとようかんで地盤の揺れ実験
- ・下敷きと色えんぴつで免振実験
- ・プリンとお菓子で地盤と建物の揺れ実験
- ・トリップぶるるミニで揺れ実験
- ・おもり2つで共振実験
- ・まるばつ棒で強い建物の実験
- ・消しゴムと竹ひごで建物の揺れ実験 etc

○Web ページ URL

新着情報 | 中部科学技術センター

※対象：小学4年生～中学3年生（親子参加OK）

(3) 内閣府防災・防テク PF 事務局

○ イベント名

【防災×テクノロジー官民連携プラットフォーム
(防テク PF)】第1回企業間マッチングイベント

○ 開催日時

令和7年8月5日(火) 13:00～17:00

○ 開催場所

オンライン

○ 概要

企業の防災ニーズをもとにした民間企業間の個別商談会を実施するマッチングイベントを、防災担当大臣より公表・リリースしました。

防災に関する技術・サービスをお持ちの企業のみなさまにとってはビジネスチャンスになりますので、中部防災ネットワークの参画団体様の会員企業等への周知について、ご協力をお願いいたします。

3. 編集後記(事務局・協力団体のひとこと)

名古屋市 防災危機管理局の[]と申します。日頃から、本市の災害対策の推進に関し、多大なるご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、昨今の防災を取り巻く環境は、皆さまご承知のとおり、2026年度中の防災庁設置に向けた動向をはじめ、昨年度末に、南海トラフ地震の新たな被害想定が公表されるなど、目まぐるしく変化しています。

こうした動きに遅れないよう、本市としても、南海トラフ地震のより詳細な被害想定の見直しを始めとして、より一層災害対策を加速させるとともに、関係機関の皆さまと連携しながら、進めてまいりたいと考えております。

また、昨年発生した「令和6年能登半島地震」では、名古屋市として、発災直後から石川県七尾市を中心に支援

を実施し、延べ 3,000 人以上の職員派遣を行いまして、
これほどの大規模な支援は、本市にとっても初めての経験であり、様々な課題や教訓を得ることができました。

そうした経験を、本市の災害対策に活かすべく、昨年度、能登半島地震の課題や教訓を踏まえた地震対策の検証を行いまして、良好な避難生活の環境の確保、迅速な被災者支援の実施、多様な機関との連携強化、災害対応の効率化のための防災DXの必要性など、災害対策上の課題を改めて認識しました。

今後は、庁内で検証結果を踏まえた必要な対策の検討を進め、本市の災害対策実施計画の拡充、財源の確保を図るとともに、必要に応じて国に要望を行うなど、本市として必要な施策の実現に努めてまいります。

最後になりますが、引き続き、この地域の防災力の強化に貢献できるようしっかり努めてまいりますので、今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いします。

<参考>

▼名古屋市公式ウェブサイト

令和6年能登半島地震を踏まえた地震対策に関する検証
報告書

<https://www.city.nagoya.jp/bosaikikikanri/page/0000185140.html>

(名古屋市防災危機管理局

防災企画課

)